# 平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日


上場会社名　アウンコンサルティング株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2459　URL　http://www.auncon.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役 兼 代表執行役員CEO　(氏名) 信太　明
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理部門担当CFO　(氏名) 中田　茂樹　TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日　平成26年1月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年5月期第2四半期 | 808 | 28.2 | △13 | ― | △6 | ― | △1 | ― |
| 25年5月期第2四半期 | 630 | △11.5 | △42 | ― | △34 | ― | △34 | ― |

(注)包括利益　26年5月期第2四半期　△8百万円　(―%)　25年5月期第2四半期　△17百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年5月期第2四半期 | △0.20 | ― |
| 25年5月期第2四半期 | △4.81 | ― |

※平成24年12月1日付で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年5月期第2四半期 | 937 | 685 | 73.1 |
| 25年5月期 | 905 | 690 | 76.2 |

(参考) 自己資本　26年5月期第2四半期　685百万円　25年5月期　690百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年5月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 26年5月期 | ― | 0.00 | | | |
| 26年5月期(予想) | | | ― | ― | ― |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
※平成26年5月期の期末配当予想および合計については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成26年 5月期の連結業績予想(平成25年 6月 1日～平成26年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,520 | 8.3 | 20 | ― | 20 | ― | 20 | ― | 2.76 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) AUN Korea Marketing, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年5月期2Q | 7,502,800 株 | 25年5月期 | 7,242,800 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年5月期2Q | ― 株 | 25年5月期 | ― 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年5月期2Q | 7,459,467 株 | 25年5月期2Q | 7,242,800 株 |

※平成24年12月1日付で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）連結経営成績に関する説明 ……P. 2
（２）連結財政状態に関する説明 ……P. 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……P. 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 4
３．四半期連結財務諸表 ……P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 7
四半期連結損益計算書 ……P. 7
四半期連結包括利益計算書 ……P. 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……P. 10
（継続企業の前提に関する注記） ……P. 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……P. 10
（セグメント情報等） ……P. 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間(平成25年６月１日～平成25年11月30日)におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果を背景に消費者及び企業マインドの着実な改善が見られ、景気は緩やかに回復しつつあります。一方で、欧州財政問題の長期化や新興国経済の成長鈍化などにより、世界経済は先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは業績の黒字化を最優先課題とし、当第２四半期連結累計期間においては、第１四半期において組成された組織体制の運用力強化に取り組んでまいりました。

まずSEOについては、営業、運用、分析の各機能を同じ専任組織内に配置しノウハウを循環させることで、アルゴリズム動向に大きく左右されることのない本質的な施策開発を継続的に進めてまいりました。また、営業においては、地方都市圏への販売促進のため、特約代理店網の開拓および代理店向けトレーニングを実施して参りました。その結果、国内営業エリア拡大に向けて足掛かりとなるような新たな販売体制の構築が進みました。

次に、PPC（リスティング広告）については、国内企業の出稿意欲向上を背景に、トップライン向上を実現する強固な組織体制の構築に積極的に取り組んできました。社外から採用した部門長人材による営業教育施策にて組織的な提案力強化を進めてきました。また、実務領域への経営資源投下により、安定的な運用体制をさらに強化しました。この結果、新規営業実績の向上、運用力の向上、また大型営業案件の獲得にも成功し、売上の伸長を実現しました。

翻訳については、第1四半期より進めてきた組織規模拡大の取り組みを引き続き着実に進めて参りました。特に、品質担当組織の拡大と育成に積極的に注力しました。この結果、クオリティの向上および均質化による顧客満足度向上を実現し、リピートクライアントの増加が進みました。

海外法人においては、第１四半期にて実現した海外法人全体の底上げが安定的に推移しました。
加えて、収益化の先行する法人の利益体質はさらに強まり、売上高の伸長と高い利益率確保のいずれもが、実現されつつあります。海外法人専任執行役員の指揮の下、長く日本にて培われたノウハウを利益先行する法人にてローカライズして利益を上乗せし、さらにそのローカライズのノウハウを後発の法人へ移植して当該エリアで利益を生み出す手法が確立されるという好循環が実現しつつあります。

これら海外での活動および国内での活動により、連結業績は前年同期比で改善傾向にあります。

最後に、第１四半期において一旦完了した業績黒字化を実現し得る部門長人材の採用については、当第２四半期においても人材のサーチを継続し、積極的に社外のノウハウを社内に取り込む姿勢を維持して参りました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は808百万円（前年同期比28.2%増）、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失42百万円）、経常損失は６百万円（前年同期は経常損失34百万円）、四半期純損失は１百万円（前年同期は四半期純損失34百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.0％増加し、844百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6％減少し、92百万円となりました。これは、主に投資その他の資産の減少によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.0％増加し、249百万円となりました。これは、主に前受金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて38.3％減少し、２百万円となりました。これは、主にリース債務の減少によるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7％減少し、685百万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成25年7月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より連結子会社であったAUN Korea Marketing, Inc.は、株式譲渡に伴い、連結範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年５月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年11月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 559,535 | 525,473 |
| 受取手形及び売掛金 | 238,729 | 306,425 |
| 仕掛品 | 743 | 1,005 |
| その他 | 23,030 | 23,296 |
| 貸倒引当金 | △9,658 | △11,364 |
| 流動資産合計 | 812,380 | 844,837 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 20,329 | 20,177 |
| 減価償却累計額 | △9,977 | △10,988 |
| 建物（純額） | 10,351 | 9,188 |
| 工具、器具及び備品 | 44,325 | 52,766 |
| 減価償却累計額 | △35,684 | △38,721 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 8,640 | 14,045 |
| 有形固定資産合計 | 18,992 | 23,233 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 449 | 197 |
| ソフトウエア | 10,782 | 10,421 |
| 無形固定資産合計 | 11,232 | 10,618 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 28,151 | 24,697 |
| 敷金及び保証金 | 34,958 | 34,178 |
| 投資その他の資産合計 | 63,110 | 58,876 |
| 固定資産合計 | 93,334 | 92,728 |
| 資産合計 | 905,715 | 937,565 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 135,553 | 169,237 |
| 未払費用 | 21,800 | 27,049 |
| 未払法人税等 | 1,748 | 1,850 |
| 前受金 | 20,340 | 19,721 |
| その他 | 32,112 | 31,859 |
| 流動負債合計 | 211,554 | 249,717 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 1,891 | 1,167 |
| 繰延税金負債 | 1,678 | 1,036 |
| 固定負債合計 | 3,569 | 2,204 |
| 負債合計 | 215,124 | 251,921 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年５月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年11月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 339,576 | 341,136 |
| 資本剰余金 | 470,576 | 471,876 |
| 利益剰余金 | △139,437 | △140,653 |
| 株主資本合計 | 670,714 | 672,358 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,031 | 1,871 |
| 為替換算調整勘定 | 16,845 | 11,281 |
| その他の包括利益累計額合計 | 19,876 | 13,152 |
| 新株予約権 | ― | 132 |
| 純資産合計 | 690,590 | 685,644 |
| 負債純資産合計 | 905,715 | 937,565 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年６月１日<br>至　平成24年11月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年６月１日<br>至　平成25年11月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 630,411 | 808,086 |
| 売上原価 | 443,642 | 607,347 |
| 売上総利益 | 186,769 | 200,739 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費及び一般管理費合計 | ※1　229,337 | ※1　213,779 |
| 営業損失（△） | △42,568 | △13,040 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 195 | 119 |
| 保険解約返戻金 | 2,353 | － |
| 解約手数料等 | 437 | 866 |
| 未払配当金除斥益 | 486 | 315 |
| 移転補償金 | 2,862 | － |
| 投資事業組合運用益 | － | 3,137 |
| 為替差益 | 3,547 | 2,040 |
| その他 | 340 | 448 |
| 営業外収益合計 | 10,223 | 6,928 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 86 | 55 |
| 投資事業組合運用損 | 1,359 | － |
| 株式交付費 | 455 | － |
| その他 | 203 | 94 |
| 営業外費用合計 | 2,105 | 149 |
| 経常損失（△） | △34,450 | △6,261 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | － | 5,088 |
| 新株予約権戻入益 | － | 5 |
| 特別利益合計 | － | 5,093 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 89 | － |
| 特別損失合計 | 89 | － |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △34,539 | △1,167 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 289 | 290 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △34,829 | △1,457 |
| 四半期純損失（△） | △34,829 | △1,457 |

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年６月１日<br>至　平成24年11月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年６月１日<br>至　平成25年11月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △34,829 | △1,457 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 296 | △1,159 |
| 為替換算調整勘定 | 17,229 | △5,563 |
| その他の包括利益合計 | 17,525 | △6,723 |
| 四半期包括利益 | △17,303 | △8,181 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △17,303 | △8,181 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年６月１日<br>至　平成24年11月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年６月１日<br>至　平成25年11月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △34,539 | △1,167 |
| 減価償却費 | 7,745 | 7,117 |
| のれん償却額 | 626 | 230 |
| 保険解約返戻金 | △2,353 | － |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 721 | 1,708 |
| 投資事業組合運用損益（△は益） | 1,359 | △3,137 |
| 関係会社株式売却損益（△は益） | － | △5,088 |
| 新株予約権戻入益 | － | △5 |
| 受取利息及び受取配当金 | △195 | △119 |
| 支払利息 | 86 | 55 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 12,360 | △72,076 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △517 | △560 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 3,129 | 33,725 |
| その他 | 6,861 | 4,785 |
| 小計 | △4,714 | △34,530 |
| 利息及び配当金の受取額 | 195 | 119 |
| 利息の支払額 | △86 | △55 |
| 法人税等の支払額 | △879 | △582 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △5,485 | △35,049 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,536 | △8,432 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △320 | △2,693 |
| 保険積立金の解約による収入 | 4,582 | － |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △1,366 | － |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 1,320 | 128 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | － | △809 |
| その他 | 3,000 | 8,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 4,678 | △3,808 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △758 | △808 |
| 配当金の支払額 | △10,625 | △16 |
| 新株予約権の発行による収入 | － | 137 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | － | 2,860 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △11,383 | 2,172 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 16,061 | 2,623 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 3,871 | △34,061 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 530,755 | 559,535 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※1　534,626 | ※1　525,473 |

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。